

東日本大震災復興支援チャリティイベント
～いたみをわかちあい、希望の光をつなぐ～

エルミタージュ美術館 オーケストラスペシャルコンサート

指揮：藤野 栄介

国寶をもてなすために生まれた特別なオーケストラを、
世界遺産・エルミタージュ美術館の映像とともに聴く、
かつてない音楽とアートのコラボレーション体験。
日本人ソリストとともに、復興への祈りを捧げます。

Program

第1部 14:00開演

グリンカ：幻想的ワルツ

ハイドン：ピアノ協奏曲ニ長調 Hob.VII-2 Piano：伊方舞

カッチーニ：アヴェ・マリア soprano：奥脇泉

マスカーニ：歌劇「カヴァレリア・ルスチカーナ」より 間奏曲

プッチーニ：歌劇「トスカ」より「歌に生き、恋に生き」 soprano：奥脇泉
他

第2部 19:00開演

チャイコフスキー：劇付随音楽「雪娘」より

ショスタコーヴィチ：室内交響曲 作品110a

シベリウス：悲しきワルツ

ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第1番 piano：三宅麻美

チャイコフスキーアンダンテ・カンタービレ

2012 / 3 / 6

火

第1部 14:00 (会場13:30)

第2部 19:00 (会場18:30)

鎌倉芸術館

access JR大船駅徒歩5分

TICKET

S席：6000円 A席：4000円 B席：2500円

●チケット取り扱い：ローソンチケット TEL. 0570-000-407

●お問い合わせ：info@hermitagemusic-japan.org

※乳幼児等未就学のお客様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

※曲目は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。

【主催】一般社団法人エルミタージュ国際音楽交流協会

【後援】在日ロシア連邦大使館

【マネジメント】有限会社 Artist&Associates

【特別協賛】marantz®

【一般協賛】横浜 ロイヤルパークホテル



■エルミタージュ美術館 オーケストラ

「なんというオーケストラだろう!アンサンブルとイントネーションの完璧さ。高度な技術と信念に貫かれた演奏と指揮は、ムラヴィンスキーの素晴らしい時代を彷彿とさせる。美しく洗練された演奏は、エルミタージュ美術館オーケストラが世界でもっともすばらしい室内楽団であると主張するかのようによに圧倒する。」

(Development in Tune)

1994年、世界最大の美術館オーケストラという名誉を授与されたサンクト・ペテルブルグカメラータ室内オーケストラは、その後、

“エルミタージュ美術館オーケストラ”と呼ばれるようになりました。

美術館オーケストラは、まずサンクト・ペテルブルグ音楽院の内部に設立され、その後その実力が認められ世界三大美術館の一つであるエルミタージュ美術館へ本拠地を移しました。1994年以降、世界三大美術館の一つとされるロシアのエルミタージュ美術館の公式オーケストラとして、エルミタージュ劇場や、エルミタージュ美術館内の様々なホール(パピリオンの間、イタリヤ天窓の間、紋章の間など)で演奏しています。

このオーケストラのことを故イェフディ・メヌーインは、「この素晴らしいオーケストラとの共演は、私にとって本当に幸せなことだった。我々はお互いをとてもよく理解している。彼らの演奏には人間の感情に対する本能があり、それはどのような指揮者をも満足させるものだ。」と評しています。

エルミタージュ美術館オーケストラは、国際的にも幅広く活動しており、カザルス・フェスティバル、カンヌ音楽祭、ストックホルム国際音楽祭、地中海国際音楽祭をはじめ、世界の主要都市における演奏会はいずれも絶賛を博しています。1998年には、(財)民主音楽協会の招聘により、サントリーホール、キタラホール、アクロス福岡など日本を代表するコンサートホールにて日本全国ツアーを行ないました。



■指揮：藤野 栄介

1989年桐朋学園大学音楽学部演奏学科を卒業し、同研究科を修了。堤俊作、岡部守弘、マスタークラスにて、小澤征爾、秋山和慶、飯守泰次郎各氏に師事。1991年アスペン国際音楽祭ミュージックスクールに参加し、ムリー・シドリンや、イ・ソリスト・ヴェネティ室内オーケストラを主宰するクラウディオ・シモーネ氏に学ぶ。1993年には、《スイス・ダボス国際音楽祭(スイス)》に参加。1994年からは国立サンクトペテルブルク音楽院にてイリヤ・ムシン、ウラジスラフ・チェルヌシェンコ各氏から指揮を学ぶ。1997年、フィルハーモニー大ホールにてサンクトペテルブルグ交響楽団を指揮。同時にエルミタージュ美術館オーケストラを指揮。以後、様々な美術館内のホールで開催される演奏会に出演。1998年よりエルミタージュ室内管弦楽団の客演指揮者、及び、エルミタージュ音楽財団のエグゼクティブディレクターに就任。2006年1月にはパーマナント・ゲスト・コンダクターに就任。2001年6月には、国立エルミタージュ美術館で開催されるミレニアムイベント“チューバ・ミルム”(“Tuba-Mirum” International Culture Project)においてコ・プロデューサー兼オフィシャルパートナーを務める。



■ピアノ：三宅 麻美

5歳よりピアノを始め、第36回全日本学生音楽コンクール小学生の部全国大会において第1位。1993年東京芸術大学を卒業と同時にドイツ国立ベルリン芸術大学に入学。1994年から毎年、ベルリン交響楽団のソリストとして、ベルリン・フィルハーモニーホールにおける定期演奏会に出演。1996年からはロームミュージックファンデーションより奨学金を得てイタリア・イモラ国際ピアノアカデミーでも研鑽を積み、第48回ヴィオッティ国際音楽コンクール第4位、第1回ガンドルフィ国際ピアノコンクール第2位及び特別賞、第9回TIM国際音楽コンクール第2位、第25回フィナーレリグレ国際音楽コンクール最高位にそれぞれ入賞。2000年にベルリン芸術大学大学院 演奏家コース修了。国家演奏家資格取得。2006年には、生誕100年を記念して『三宅麻美 ショスタコーヴィチ・シリーズ』をスタートし、注目を集める。2008年にはレグルスレーベルより邦人初、ショスタコーヴィチ「24の前奏曲とフーガ」全集CDを発売。新聞、レコード芸術誌等で高い評価を受けるなど、幅広い演奏活動を行う。2012年ロシア・サンクトペテルブルグにて、エルミタージュ音楽財団主催「エルミタージュ美術館オーケストラ定期演奏会」に出演。



■ピアノ：伊方 舞

熊本県生まれ。5歳からピアノを始める。九州各地での様々なコンクールで受賞後、東京音楽大学付属高等学校ピアノ演奏家コースに入学。第53回全日本学生音楽コンクール高校の部、全国大会第1位。あわせて野村賞、都築音楽賞を受賞。2000年日蘭友好400年を記念して、オランダ クリステーナ王女コンクール財団の招きによりオランダ各地をめぐる演奏旅行に出席。2001年日独青少年交流コンサートにおいてドイツ各地での両国若手演奏家によるコンサートに出演。2006年東京音楽大学ピアノ演奏家コースを卒業。現在はソロ活動のほか、声楽や器楽のコンサートでの共演、また現代音楽の演奏会など多数出演。



■ソプラノ：奥脇 泉

福島県出身。昭和音楽大学卒業、同大学院修了。五十嵐典子、大藤裕子、戸田敏子、長坂幸夫の各氏に師事。日本・ASEAN交流年事業「日本・ASEAN11か国による至宝の舞アジア黄金絵巻」公演、東京国際フォーラムでのグランドフィナーレ「平和の園」テーマソングのメインヴォーカルに選ばれ、皇太子はじめASEAN各国の来賓の前で演奏し好評を博す。東京芸術劇場で行われたフォーレ「レクイエム」にソプラノ・ソリストとして出演、その後、オペラ・ドニゼッティ「愛の妙薬」、モーツァルト「コシファンツテ」、ロッシーニ「セビリアの理髪師」やモーツァルト「レクイエム」、ハイドン「テレジア・ミサ」、のソプラノ・ソリストとして数多くの演目に出演する。



■日本舞踊家：藤間 勘洋舞

宗家藤間流、藤間洋子師に師事。社団法人日本舞踊協会会員。2006年宗家藤間流名取修得。2007年八代目藤間勘十郎(宗家)主催:第六回『一心會』にて長唄「道成寺」花子で出演。2007年藤間洋子主催『藤間洋子舞踊会』にて長唄『藤娘』で出演。2008年東京芸術大学音楽学部邦楽科日本舞踊専攻入学。2009年宗家藤間流師範修得。2010年八代目藤間勘十郎(宗家)主催:第七回『一心會』にて長唄。「近江のお兼」お兼で出演。2012年ロシア・サンクトペテルブルグにて、エルミタージュ音楽財団主催「エルミタージュ美術館オーケストラ定期演奏会」に出演。